

## 第38回愛媛ブルーランドサマーキャンプでの活動報告

所属：愛媛県立中央病院 臨床検査技師

名前：紙田 晃

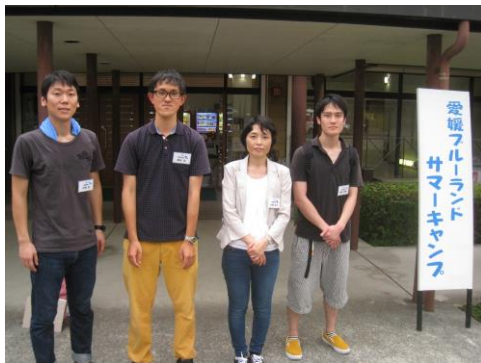
8月10日から12日にかけて2泊3日で小児糖尿病サマーキャンプに参加しました。昨年からの糖尿病チームに携わらせていただいておりますが、1型そして小児の患者さんとは普段の教育入院で関わることがほとんどなく、同じ環境の中で、患者さんと関わるよい機会となりました。

何よりも印象的だったのが、キャンパーさんがとてもしっかりしていたことです。小学生のキャンパーさんでも自分でSMBGを行い、現在の血糖値、これからの運動量、食事を考えながらインスリン量を調節する姿には驚かされました。糖尿病で低血糖の恐れがあり、おとなしい子供さんが多いのかなと思っていましたが、ゲーム大会や運動会では一心不乱に動き回り、楽しんでいる姿が印象的でした。ただ、その後低血糖を起こすキャンパーさんもいて、自分たちで自己管理をしていますが、やはり周囲の人たちが時には気にかけるべきことの重要性も学びました。

検査技師としては、HbA1cの測定、尿ケトン体の測定、血糖測定器のメンテナンスなどを行いました。これらもキャンプにおいて重要な役割を占めており、チーム医療の一翼を担えていることを実感できました。

糖尿病の子供さんとの触れ合いだけでなく、他院の検査技師、他職種の人とも関わることは大変刺激になりました。僕はゆくゆく糖尿病療養指導士の資格をとりたいと考えていますが、キャンプを通じて知識不足を痛感しました。特に食事、薬に関してまったく知識不足であるので、糖尿病チームの一員を担わせてもらっている以上、検査のことだけでなく幅広く学んでいくことの重要性を再認識しました。自分にとって収穫の多いキャンプで、これからの業務に生かしていきたいと思えます。

キャンパーさんと、また来年も会いたいと思えます。



参加技師 4名



HbA1c 測定



尿糖・尿ケトン体測定



血糖自己測定器点検



血糖測定のレクチャー



キャンプファイヤー